

肝付町の 教育・文化・スポーツの



教育長
コラム
Vol.12

今回のテーマ

幼保小中連携

義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期です。国は、この時期を「**架け橋期**」と名付け、幼稚園・保育所・認定こども園と小学校・義務教育学校に対して、架け橋期を通じて、未来を担う子供に学びや生活の基盤を育み、持続可能な社会の創り手となることができる力の基礎を育むよう求めています。

町では、就学前から義務教育修了までの各段階の保育及び教育を担う職員が、それぞれの段階で抱える課題と現状を共有化し、それに対応した一貫した取組を行うことで、子どもたちの健全な育成に務めるとともに、就学前から義務教育修了までの円滑な接続を図るため、町内の保育・教育に関わる機関で構成する「**幼保小中連携協議会**」を昨年6月に立ち上げました。



▲文部科学省が作成した資料から抜粋

肝付町では、就学前（保育所・幼稚園・認定こども園）と義務教育（小学校・中学校・義務教育学校）を担う各機関が連携を図り、子どもたちの「生きる力」を育む取組を進めています。

各家庭をはじめとして、地域の皆様方には、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。



就学前

子どもとのスキンシップ（例：おんぶやだっこなど）やコミュニケーション（例：読み聞かせなど）を充実させ、笑顔の絶えない明るい家庭を築きましょう！

第2期肝付町子ども・子育て支援事業計画

義務教育

家庭学習の指針として「小学生は80分、中学生は2時間家庭学習に取り組む。30分間は、テレビを消して、家庭との語らいや読書をする。」

やぶさめ運動「80・2・30運動」

町民全体

学校・家庭・地域・職場で日常的に「あいさつ」をみんなで行い、明るく安全な地域社会をつくりましょう！

肝付町生涯学習推進会議目標テーマ「町民全体であいさつ運動」

▲保護者への周知用に肝付町幼保小中連携協議会が作成したチラシから抜粋

今後も、教育委員会では、役場福祉課と連携を図りながら、幼稚園・保育所・認定こども園における活動を支援していくこととしています。

